

平成23年12月2日(金) 13:00~17:00

千代田放送会館ホール

観測データが語る気候変動

— 長期観測データの取得・発掘・保存 —

写真:気象庁提供

主催 地球温暖化観測推進事務局/環境省・気象庁

後援 内閣府、文部科学省、水産庁、海上保安庁、国立極地研究所、(独)水産総合研究センター、(独)国立環境研究所 地球環境研究センター

無料参加
要事前登録

地球温暖化は、人類が直面する地球規模の重大な問題の1つです。温暖化の実態やその影響を把握し、適切な対策を実施するためには、長期間にわたる観測データの蓄積と解析が不可欠です。そのためには、長期間の観測の実施とデータの取得、歴史に埋もれた貴重な観測データの発掘、さらには観測データの保存が重要となります。ワークショップでは、多くの分野における観測データの取得・発掘・保存に関する取り組みと、それらによって得られた地球温暖化に関する最新の研究成果をご紹介します。

プログラム

13:00 ~ 13:10	開会挨拶 (気象庁) (司会: 藤谷 徳之助 地球温暖化観測推進事務局)
13:10 ~ 13:50	基調講演 ■「長期観測データから見た日本の気候変動と異常気象」 …藤部 文昭 (気象研究所)
13:50 ~ 14:20	講演 ■「日本周辺外洋域の動物プランクトン群集の長期変動データから見た海洋生態系の気候変動応答過程」 …杉崎 宏哉 (水産総合研究センター中央水産研究所)
14:20 ~ 14:50	■「海洋観測データのアーカイブと統合的利用による海洋変動の実態把握」 …寄高 博行 (海上保安庁)
14:50 ~ 15:10	(休憩)
15:10 ~ 15:40	■「南極・北極の長期観測データから見られる気候変動の実態」 …榎本 浩之 (国立極地研究所)
15:40 ~ 16:10	■「地球大気変動の実態解明に貢献する長期再解析」 …原田 やよい (気象庁)
16:10 ~ 16:55	総合討論 「長期観測の維持・継続と観測データの取得・発掘・保存」
16:55 ~ 17:00	閉会

日時・場所

平成23年12月2日(金) 13:00~17:00 (受付開始12:15~)
千代田放送会館ホール 東京都千代田区紀尾井町1-1 TEL:03-3238-7401

- ・地下鉄赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線) 出口 D から徒歩約9分
- ・地下鉄永田町駅(南北線・有楽町線・半蔵門線) 出口 9a 9b 5 から徒歩約2~8分
- ・地下鉄麹町駅(有楽町線) 出口 1 から徒歩約5分

参加申込

事前登録制です。ホームページよりお申し込みください。

<http://occo.nies.go.jp/111202ws/index.html>

※定員200名 定員になり次第登録を締め切ります。

お問合せ先

地球温暖化観測推進事務局/環境省・気象庁 (OCCCO)

<http://occo.nies.go.jp/> e-mail: occo-ws11@nies.go.jp

TEL: 029-850-2980 FAX: 029-858-2645

